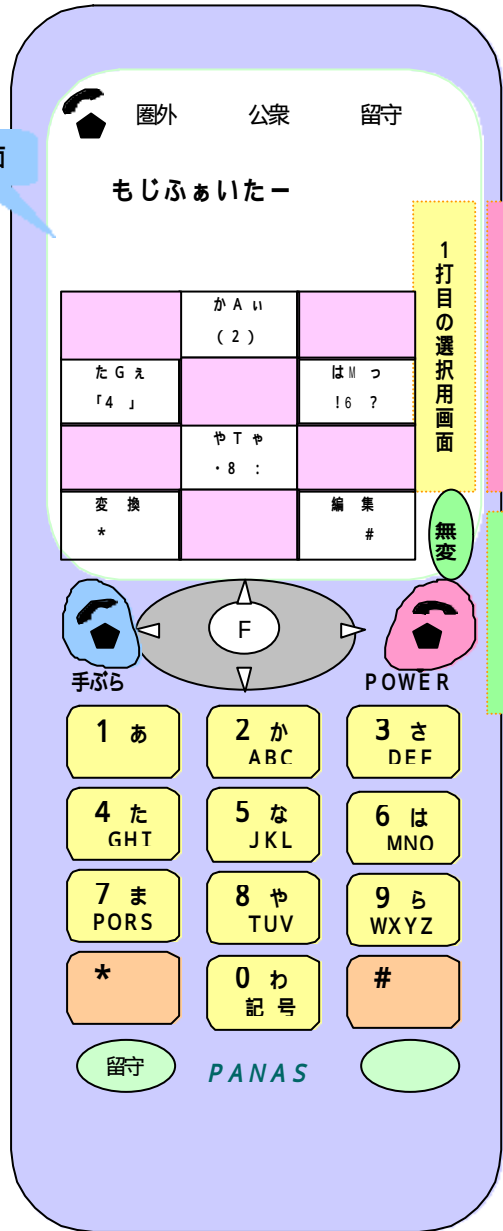


文字ファイターの原理

1打目と2打目で、各キーの表示内容が変化する、可変式ソフトキーボードの、全体縮小と部分拡大の2種類の表示画面を利用します。入力したい文字や記号が表示されているキーを、12個のキーから2回選択するだけで、簡単に入力できます。幼児にもできる絵合わせ遊びと同じ要領です。但し、1打目用の縮小画面で、表示スペースの関係上、表示が省略されたものは各グループの文字配列の先頭の文字（例えば、か行かなは「か」）や「点」等の総称が表示されているキーを選択します。変換モードを「無変」でなく「優先」に設定すると、かか・英小文字・0-9数字・類似記号の選択用表示画面に一変します。

液晶画面

相似形応用型

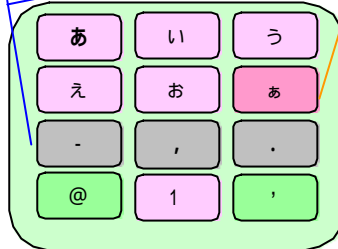


一打目が

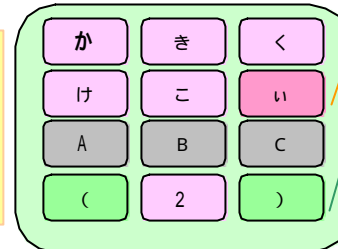
かな小文字

記号

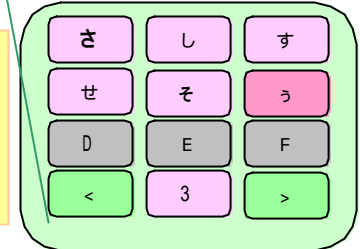
1のキーの場合



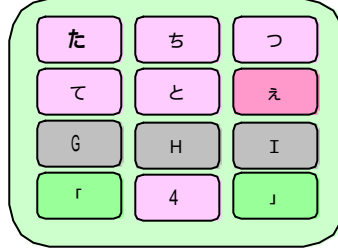
2のキーの場合



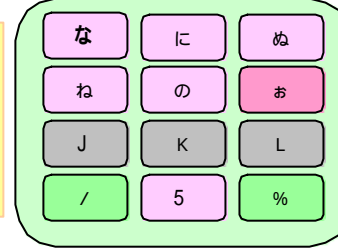
3のキーの場合



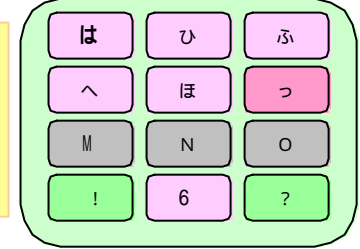
4のキーの場合



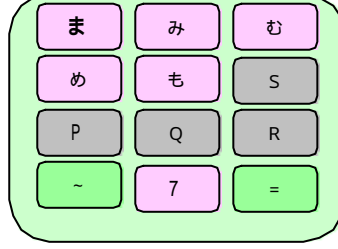
5のキーの場合



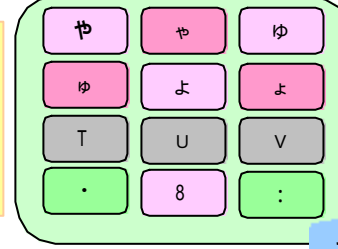
6のキーの場合



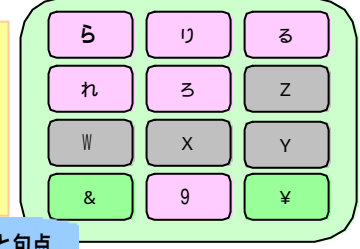
7のキーの場合



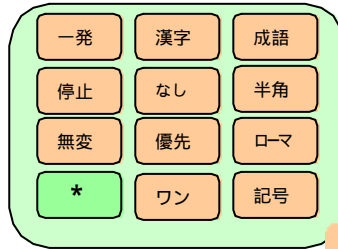
8のキーの場合



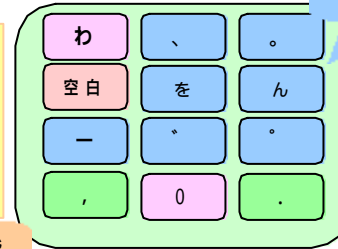
9のキーの場合



*のキーの場合

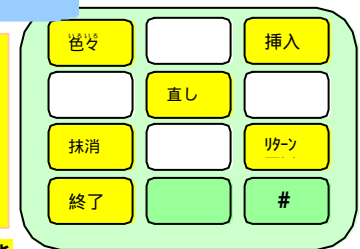


0のキーの場合



その他かなと句点

#のキーの場合



変換機能

編集機能

従来方式との比較

現在の入力方式の特徴と問題点

行別（マルチタップ）入力方式

現在の携帯電話入力

現在発売されている「携帯電話」の誰にも分かりやすい入力方式です。

<かな入力> <英字入力> <数字入力>のシフト選択が事前に必要です。
数字以外は、該当行のキーを該当文字まで押し続けて文字を確定します。

【問題点】

入力したい文字によってはタッチ数が多過ぎます。（特に小文字や、各行の後半の文字）
かな、英字、数字ごとに文字種を事前に選択する方式は混在型の日本文には不便です。

数字 2 桁入力方式

ポケベル入力

ポケベル全盛時代に使われたスピーディーな 2 タッチ方式です。

フリーメッセージコード一覧表に基づき、数字 2 桁入力で 1 文字（記号）を入力します。
2 タッチの良さが見直されて、ポケベル方式の併用機種が最近では増えています。

【問題点】

文字の配列が文字盤に対応できていないため、一覧表や記憶力に依存しています。
数字キー（10キー）のみ使用のため、かな小文字が無く、記号も少な過ぎます。

矢印選択入力方式

小型キーボード入力

全文字表示の画面から所定の文字を上下左右の移動キーにより選択する新方式

全文字が表示された画面（フルキーボード）からキーを移動しながら文字を選択します。
かな、英字は、文字種を事前にシフト選択する必要があります。

【問題点】

全文字から検索するため、文字の選択に時間が掛かりすぎます。
小さい画面だと文字が小さくなり判読しにくくなります。

文字ファイターによる改善策

文字ファイターの特長

数字 2 桁入力方式に別キーを加えて文字列を改革した縦軸（12 キー）横軸（12 キー）による 2 打入力方式

かな、英字、数字、記号、機能を 2 打で入力

〈1 打目がほぼ同じキーなので直ぐに馴染めます〉
〈英数字かな間の切り替え操作が不要です〉
〈平均タッチ数は 2 / 3 以下になります〉
〈独特の 2 連打で入力速度は数倍も速くなります〉

探し易く覚え易いような文字配列の再編成と文字盤への完全対応と 40 種の記号への対応
〈文字盤を見ながら簡単に入力できます〉
〈似た者同志は 1 打目がほぼ同じキーです〉
〈4 倍以上の記号を 2 打入力できます〉

カナ母音や表示位置毎の決定打で瞬時に選択
〈文字選択が容易で速さは電卓並みです〉

文字ファイターの入力方式は、普通のテンキーの数字「0～9」と「*」「#」の合計 12 個のキーを縦軸と横軸の双方に見做して、文字と記号を配置し、2 打の交差点で選択する座標軸応用型の仕組みです。

の数字 2 桁入力方式を継承しながらも、文字配列の再編成により国際規格の文字盤と対応を取り、文字を探し易く覚え易くして、スピードを更にアップしました。あらゆる種類の「携帯情報端末」に共通利用できます。